

ゆりかご 園だより

4期(1~3月)のねらい

表現活動を通して心を育てよう 2022・2・1

卒園・進級を期待しよう

先月、0歳児の保育参観が行われました。新型コロナウイルス感染が急拡大しているため各家庭1名の参観となりました。上に、当日体調を崩す子もいて、少人数のちょっと寂しい保育参観でした。

この0歳児の保育参観は、30年以上続いている行事で、普段の子どもの様子や保育の様子を見ていただく機会になっています。

大好きなお母さんやお父さんから離れての保育園生活。入園当初は大きな泣き声が園内に響き渡っていました。個々のリズムを大事にしながら、安定した生活づくりをすすめ、また、信頼し安心して過ごせる人間関係をつくってきました。

0歳児期は、ハイハイからつかまり立ちへ、そして伝い歩きから歩行へと、運動機能の発達も目覚ましい時期です。つまむ、めくるといった手指の機能の発達も大きいです。友だちや周囲への興味が高まり、“おもしろそうだな～私もやってみよう”と大人や友だちの真似をするなど、子ども同士や大人との関係が育まれていきます。そんな子どもの姿に大人がこぼれ涙を添え、共感していくことで子どもの心が豊かに育っていくのだと思います。

さて今年度の保育参観。子どもたちはエンジンがかかるのにいつになく時間を要していました。きっと、大人たちがこっそり覗いて参観する部屋の、おろしたブラインドの角度のせいで、はきりとはいえないまでも顔がみえていたからかなと思います。“あれ、何だか変だな”“大人たちがいるぞ”と、いつも通りの環境ではなかつたけれど、いつもと違うことを感じ取れた子どもたちに“之らい!”と思ったのでした。

お忙しい中参観してくださった方々、そして兄弟と一緒に留守番をしてくださった方々、ありがとうございました。

今年度もあと2ヶ月にたり、一年を振り返る時期になりました。年長クラスのぞう組ではお母さんたちが中心になって卒園アルバムを作成中です。

今月は最後のクラス懇談会も予定しています。新型コロナウイルスの感染状況が心配ですが子どもたちには楽しい思い出をいっぱいつくってもらいたいし、大人たちには子どもたちの成長を大いに語っていただきたいなと思います。

